

わたしたちの思い のしろ家守舎

この先、能代の街は どうなっていくのでしょうか。
街の中にどんな人が住み、どんな人が行きかっているのでしょうか。
シャッター通りとなってしまった駅前島町通りの建物は、一つの時代での役割を終えただけだと思っています。そしてこれから新たな時代にあつた役割を生み出していく必要があり、そのために私たちは動き出さなければいけないのだと思います。街に住む人全員で考えたとき、目指すべき能代の街の形がきっと見えてくると思います。待っているだけではなく行動に移しませんか？ 一緒に動き出そう！



鈴木 隆宏
(株)鈴喜代

田中 秀範
エモーショナルダイニング(株)

阿部 誠
お仏壇の千栄堂

代表社員 湊 哲一
ミナトファニチャー

のしろ家守舎メンバー
と仲間たち

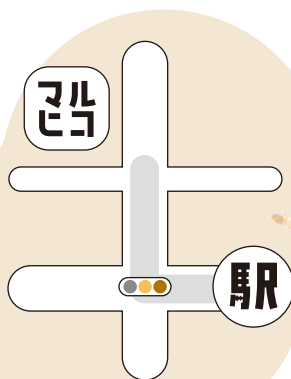
能代市の駅前・島町通りは空き店舗が増え、シャッター街と呼ばれるほどの商店街になってしまいました。この現状を打破するため、若き事業者4人が中心となり、商店街の空き店舗を借り上げて、起業者を呼び込む「マルヒコプロジェクト」を進めています。

プロジェクトの第一歩として、駅前の空き店舗、旧丸彦商店をリノベーション（大規模改修）し、子どもの遊び場やカフェ、初心者でも気軽に学べるDIYの学校、シェアオフィスやコワーキングスペースなど、多世代が集まれる地域の拠点「マルヒコビルディング」をつくりたい。

この「マルヒコビルディング」から、周辺へにぎわいやコミュニティを広げ、地域を再生する「エリアリノベーション」を目指す取り組みです。

4月1日からは、2階のシェアオフィス・コワーキングスペースがオープンします。

ぜひ街なかに足を運んでみてください。



マルヒコプロジェクトの経緯を、のしろ家守舎代表の湊哲一さんにお伺いしました。

1 動き出す、商店街プロジェクト

始まりは、一昨年の「動き出す、商店街プロジェクト」です。国内で先駆的な取り組みを行っている講師の方々から刺激を受け、空き店舗を改修した事業をやってみようという気持ちが高まり、商店主や個人事業主、子育てグループが集まり、プロジェクトメンバーとなりました。

講師の方々と一緒に商店街を何度も歩いて空き店舗を探し、立地と外観から旧丸彦商店をターゲットに選定しました。

大家さんのご厚意により、令和元年の秋に、はじめて建物の中をメンバーみんなで見せていただいたのですが、想像以上の広さと雰囲気を感じました。一番インパクトを受けたのが地下の広大な空間で、ここで何かを始めたい！と思ったことがこの事業に踏み出す決意をした瞬間だったと記憶しています。

大きな可能性を感じ、この場所から商店街の未来をつくるため、本格的に事業計画を作り始めました。計画は旧丸彦商店に、今現在街なかに足りていないコトやモノを作り出すものとなりました。



インタビューを受ける
のしろ家守舎代表 湊哲一さん



駅前ににぎわいを創出したマルヒコ de なべっこ遠足

2 コロナ禍、そして動き出す

令和2年の春、新型コロナウイルスの感染拡大により、その動きは停滞してしまいました。

しかし、思うように動けない間にプロジェクトメンバーの湊・阿部・鈴木・田中の4人が中心となり、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた計画とするための検討を重ね、時代に合った、より具体的に現実的な計画を練り上げることができました。

3 のしろ家守舎設立

令和2年8月、「合同会社ののしろ家守舎」を立ち上げました。活動の目標は、こどもたちが自分の街・能代を好きになることです。商店街にこどもと大人の居場所をつくり、元気と希望があふれ、こどもたちが巣立ってからもまた戻ってきたくなる街を目指し、本格的に活動をスタートさせました。

4 歩道活用イベントの実施

まずはマルヒコプロジェクトを知ってもらい、この場所を好きになってもらいたいとの思いからイベントを行うことにしました。

駅前商店会、市、県と協働し、歩道を安全に活用した「第0回 のしろいち」、「だんだん・のしろ」「マルヒコ de なべっこ遠足」「帰ってきたマルヒコバザー」などのマルシェやバザーを実施しました。

当日は大勢の人でにぎわい、歩道や空き店舗を活用した取り組みに手応えを感じることができました。

5 リノベーションが始まる

令和3年1月、事業計画が完成し、マルヒコオープンに向けて工事が始まりました。まずは2階のシェアオフィス・コワーキングスペースが完成します。4月1日からデザイナーや建築などさまざまな業種の方々が事務所を街なかにまえることになります。



旧丸彦商店をリノベーションし
シェアオフィス・コワーキングスペースに

今後は1階と地下1階に、子どもの遊び場やカフェ、DIYを学べる学校など、街なかに足りないコンテンツを詰め込んだマルヒコビルディングのグランドオープンを目指します。そして、このマルヒコビルディングを拠点として、人とのつながりを増やし、空き店舗を活用することで、少しずつエリアが変わり、新たな時代にあった商店街の新しい役割を生み出していくことができると思っています。

街に住む人みんなが街のことを考えたら目指すべき風景が見えてくると思います。私たちと一緒に街の事を語り合いませんか？さあ一緒に動き出しましょう！



空きテナントは宝物だ！
マルヒコ
プロジェクト
事業最終報告会



2月8日に今回のプロジェクトの報告会を行いました。ぜひご覧ください。

最終報告会の動画はこちら

問合せ先 -----
のしろ家守舎
▶ 湊 哲一 (TEL : 090-2634-0420)